

新地発電所概要

【設立経緯】

当社は、電源の脱石油化と電気事業広域運営の一翼を担うとともに、福島県が相馬市、新地町と一体になって進めていた相馬地域の総合開発に貢献するため、昭和56年6月、東北・東京両電力会社の共同出資により設立されました。

以来、建設の諸準備を進め、新地発電所1号機を平成2年8月に、2号機を平成3年8月に着工し、1号機が平成6年7月、2号機が平成7年7月にそれぞれ100万kWという国内最大級の石炭火力として営業運転を開始いたしました。

＊現在の株主は、東北電力㈱ならびに㈱JERAとなっております。

〈発電所のあらまし〉

- | | |
|----------|---|
| □所 在 地 | 福島県相馬郡新地町駒ヶ嶺字今神1番地1 |
| □発電所用地 | 約182ha <ul style="list-style-type: none">・発電所用地 96ha・貯炭場用地 72ha・埠頭用地 14ha |
| □出 力 | 100万キロワット 2基 |
| □営業運転開始 | 1号機 平成6年7月
2号機 平成7年7月 |
| □主 要 燃 料 | 石炭（海外炭）年間使用量：約450万トン
貯炭容量：85万トン（約60日分） |
| □煙突の高さ | 200メートル |



〈新地発電所〉